

家庭教育学級

だより

28年度第1号

皆様、こんにちは！

今年度から、教育委員会生涯学習推進課で、
家庭教育学級を担当しております 本間 登 と 成田 義則 です。
どうぞよろしくお願いいたします。遅ればせながら、まずは自己紹介です。

本間 登…前年度まで、学校開放図書館の業務を主に担当。



本年度から「家庭教育学級」一筋。企画・運営全体を掌握。
丑年の牡牛座（愛息二児のパパ 気は優しく力持ちの nice guy）

成田 義則…前年度まで小学校に勤務。（家庭教育学級には参加させていただいていました）



4月より社会教育指導員として生涯学習推進課へ…。
学習報告書や名簿等、主に提出いただく書類の処理を行っています。
未年のかに座（愛孫二児の爺じ）

…文責 成田

平成 28 年度の家庭教育学級数は幼稚園・小・中学校合わせて 161 学級。実際に学校までお邪魔したり、学習報告書を拝見したりしておりますが、各園・校が充実した活動を進められている様子が伝わって参ります。

また各園・校におかれましては自園・校の学習活動に加え、7月実施の“比田井和孝様”をお招きしての『全市合同学習会』、11月から12月にかけて実施しました『家庭教育学級 情報交換会』と、全市的な取組にも多数ご参加いただき誠にありがとうございます。

3月までの残り3か月。“完了届”の提出等もごさいます。

今後ともよろしくお願いいたします。

学習会へお邪魔させていただきました！

暦はすでに師走。5月から実際の活動を始めた「家庭教育学級」ですが、各学級長様を中心とした学級生の皆様のお力で、必修学習後に提出いただいております“学習報告書”も数多く届いております。中には、予定された必修学習を既に終了した学級もございます。

各校より送付いただいた『学習計画』を拝見し、複数のご依頼を受けている講師の方々の講演や特色ある活動を予定されている園・校を中心に8月末から訪問のお願いをし、10の園・校の学習会に参加させていただきました。

訪問させていただいた園・校の皆さま、ありがとうございました。この場をお借りしお礼申し上げます。

お邪魔させていただいた学級の中から、今年度初の訪問校である「日新小学校」と二校合同開催の「北郷・北白石小学校」の様子をお伝えします。（次号以降、二校以外の様子もできる限りお伝えしようと思っております。）

日新小学校の皆様 ありがとうございました！！

今年度初めて、学習会に参加させていただきました。
夏休み終了直後のお忙しい日程の中、快く迎え入れていただき、ただただ感謝しております。

学習テーマ ～色を使ったコミュニケーション～ 色育講座
講師 色育インストラクター 近川 樹美恵さん



色育とは、色のもつチカラを活用して「集中力」「想像力」「コミュニケーション力」を育てるプログラム。

現代社会において必要とされるこの3つの力（「生きる力」）を色を使って親子で楽しく育てることを目的としている。

実際に色を感じる数種のワークを通して、参加された方々同士のコミュニケーションが広がっていくのを感じました。

お邪魔した本間・成田の二人もいつの間にか、温かくかつ活気のある雰囲気の中で学習に没頭しておりました。

北郷・北白石小学校の皆様 ありがとうございました！！

2回目の訪問は、白石区の北郷小学校でした。
この学習会は「北白石小・北郷小」両家庭教育学級合同で行われました。
両校の方々も和気あいあい… 温かい雰囲気満載です

学習テーマ 子育ての悩み不安などについて学ぶ ～子どもの心の根っこを育てる
講師 一般社団法人ぴんぽんはーと代表理事 魚岸 あや子さん



講師の方から、

- 子どもは神様からの“預かりもの”
- “根拠のない自信”＝“心の根っこ”＝自己肯定感は、お母さんが育てていくものである。3歳までに“心の根っこ”の土台ができる。父親には社会性を育ててもらう。
- 子どもと向き合う
 - 話を聴く・子どもに触れる・いっぱい甘えさせる
- 短い時間でも子どもとの時間をもつ
- いっぱい失敗させる（失敗は経験になる）
- 信じて見守る（イライラせず、我慢して）等が伝えられました。



黒2点の本間・成田も講師のお話に聞き入ってしまいました。
特に「父親を大切に……。」のフレーズに感動。

父親・夫をリスペクトしていただく機会はこの頃、あまり……。感激！！です。

学習報告書の書き方アドバイス



5月から12月までの8か月間。滞りなく学習報告書をいただきありがとうございます。心温まるお言葉まで添えていただくこともあり、重ねてお礼申し上げます。

全て読ませていただいておりますが、特に学習された内容の詳細がとてもよく伝わってまいりました。

ただ『「反省・感想」の欄』ですが、“学んだ事をどのように子育てに生かしていけるかという視点で記載”と記されておりますので、その点にご配慮いただく必要がございます。

提出いただいた数々の素晴らしい報告書の中から、いくつかご紹介します。（文字数の関係で、多少文章は編集しています）下半期以降の参考にさせていただければと思います。

A校の記載より … 1-2 子どもの健やかな成長について学ぶ

つい感情に任せて叱ってしまうことの多い毎日ですが、叱られる子の立場になって考えてみてという先生の言葉にはっとしました。子どもと一緒に過ごせる期間は限りのあるので、その時間をもっと大切にしようと思改めて思いました。

単に力任せの躰ではなく、子どもに寄り添って「何故悪いのか」「何故ダメなのか」の「何故・どうして」をはっきり伝え、良い方向へ一緒に進める母・親でありたいと強く感じました。（中略）もう少し肩の力を抜いて子どもと関わっていききたいと思しました。紹介いただいた絵本「だいじょうぶ、だいじょうぶ」に感激。子どもと一緒に読みたいと思します。

B校の記載より … 1-3 子育ての悩み不安などについて学ぶ

これからは、イラッとしたときは、まず深呼吸して「これは怒ることなのか」と判断したいと思う。結婚して子どもが生まれてから、怒ることが増えた。「怒り」になるのは自分の心に余裕ない時というのは理解していたが、どうしたらいいのかわからず悩んでいた。

ですが、今日はコップがいっぱいになる一次感情の仕組みが分かって気持ちが楽になった。今後に生かしていこうと思う。

C校の記載より … 4-1 子どもの持つ権利をどう正しく教えるかについて学ぶ

どうしても口を出してしまいがちですが、子ども自身が自分で悩み考え成し遂げることで初めて自信に繋がるという事。子どもも親も失敗することで成長する事を学んだ。

これからもたくさん子どもと向き合い触れながら、親は「あなたをみますよ」の温かい気持ちで見守り、心にゆとりをもちながら、今を大切に家族で過ごしていきたいと改めて感じた時間でした。

学級生名簿や学習計画の変更などの連絡方法

学習報告書の提出のほか、学級生名簿や学習計画の変更や修正などのご連絡も適宜行っているためでございます。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。

また、学習報告書の若干の修正等につきましては、基本的にEメール及びFAXでお伝えしております。当方より連絡があった際は、よろしくご対応いただきますようお願いいたします。

親育ち応援団『講演』のご案内！！

親育ち応援団事業とは？ 「親が笑顔なら子どもも笑顔になる」

札幌市教育委員会では、「親の育ちが子の育ち」の考えから、親の育ちを応援する取組として、子育て中の親を対象に、基本的な家庭教育（生活習慣・しつけなど）を行うための親の意識や知識・楽しく子育てをするためのコツなどについて、分かりやすく考えることの出来る「講演会」や「講座」を実施しています。

今回は、駒大苫小牧高校を甲子園で日本一に導いたメンタルトレーナー「遠藤友彦」氏をお迎えし、子どものやる気を引き出す極意を贈ります。

夢や目標をもつお子さんと真剣に向き合い、「子どもの可能性を最大限引き出したい」皆様を応援する内容です。

お時間の都合をつけて、多数の方々にご参加いただければ幸いです。

SAPPORO

親育ち応援団講演会

その氣に
させる
極意。

叱咤激励すればいいものじゃない。
子どもだって人格を持った一人の人間。
楽しく、真実に向き合って「やる氣にさせる」。
その極意とは？

あの！
駒大苫小牧高校を
甲子園で日本一に導いた
メンタルトレーナー
エン トモ
遠藤友彦が贈る。

「やる氣アップの極意」セミナー 定員 50名
【日時】平成29年1月20日 19時～20時30分(18時30分開場)
【会場】ACU(アキュ)16階 中研修室
札幌市中央区北4条西5丁目アスティ45

「夢実現の法則」講演会 定員 550名
【日時】平成29年1月21日 10時～11時30分(9時30分開場)
【会場】共済ホール6階
札幌市中央区北4条西1丁目共済ビル

参加費 無料
【要申込】

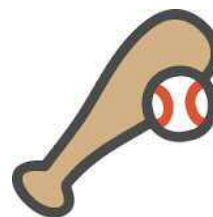
主催 / 札幌市教育委員会

【夜の部（セミナー）】

- 日時：平成29年1月20日（金）
19時00分～20時30分
（開場 18時30分）
- 会場：会議・研修施設ACU（アキュ）16階（中央区北4条西5丁目アスティ45）

【昼の部（講演会）】

- 日時：平成29年1月21日（土）
10時00分～11時30分
（開場 9時30分）
- 開場：共済ホール
（札幌市中央区北4条西1丁目）



※上記の内容は札幌市のHPからもご覧いただけます。

（札幌市公式HP→教育・文化・スポーツ

→生涯学習・若者支援→生涯学習の支援

→生涯学習支援事業→学校・家庭・地域の連携促進）

